



## S コマンド

---

この章では、S で始まる Cisco NX-OS インターフェイス コマンドについて説明します。

# shutdown

インターフェイス上のローカルトラフィックをシャットダウンするには、**shutdown** コマンドを使用します。インターフェイスをデフォルトの動作ステートに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**shutdown**

**no shutdown**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

シャットダウンしません。

## コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード  
サブインターフェイス コンフィギュレーション モード  
仮想イーサネット インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.0(3)N1(1)	レイヤ 3 インターフェイスおよびサブインターフェイスのサポートが追加されました。
5.1(3)N1(1)	仮想イーサネット インターフェイスのサポートが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、次のインターフェイスで使用できます。

- レイヤ 2 インターフェイス（イーサネット インターフェイス、EtherChannel インターフェイス、サブインターフェイス）
- レイヤ 3 インターフェイス



**(注)** インターフェイスをレイヤ 3 インターフェイスとして設定するには、**no switchport** コマンドを使用します。

- レイヤ 3 サブインターフェイス
- 管理インターフェイス
- 仮想イーサネット インターフェイス

## 例

次に、レイヤ 2 インターフェイスをシャットダウン（ディセーブル）する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/10
switch(config-if)# shutdown
switch(config-if)#
```

次に、レイヤ 3 イーサネット サブインターフェイスをシャットダウンする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/5.1
switch(config-subif)# shutdown
switch(config-subif)#
```

次に、仮想イーサネット インターフェイスをシャットダウンする例を示します。

```
switch(config)# interface vethernet 10
switch(config-if)# shutdown
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>no switchport</b>	インターフェイスをレイヤ 3 ルーテッド インターフェイスに変換します。
<b>show interface ethernet</b>	イーサネット インターフェイス コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>show interface port-channel</b>	指定の EtherChannel インターフェイスのトラフィックに関する情報を表示します。
<b>show interface vethernet</b>	仮想イーサネット インターフェイスのコンフィギュレーション情報を表示します。

# speed (インターフェイス)

インターフェイスに送受信速度を設定するには、**speed** コマンドを使用します。デフォルトの速度にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
speed {10 | 100 | 1000 | 10000 | auto}
```

```
no speed
```

## 構文の説明

<b>10</b>	インターフェイス速度を 10 Mbps に設定します。 この速度は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチではサポートされません。
<b>100</b>	インターフェイス速度を 100 Mbps に設定します。 この速度は、管理インターフェイス、Cisco Nexus 5500 シリーズのスイッチ、または CU-96 CEM カードではサポートされません。
<b>1000</b>	インターフェイス速度を 1 Gbps に設定します。 Cisco Nexus 5596T スイッチでは、ベース ボード ポートは 1 Gbps をサポートします。
<b>10000</b>	インターフェイス速度を 10 Gbps に設定します。これがデフォルト速度です。 この速度は、管理インターフェイス上でサポートされません。 Cisco Nexus 5596T スイッチでは、ベース ボード ポートは 10 Gbps をサポートします。
<b>auto</b>	インターフェイスの速度が自動ネゴシエーションされるように指定します。 Cisco Nexus 5596T スイッチの場合、10GBase-T ポートで自動ネゴシエーションを選択できます。

## コマンド デフォルト

デフォルト速度は 10000 (10 ギガビット) です。

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1a)N1(1)	このコマンドが追加されました。
5.1(3)N1(1)	100 Mbps のインターフェイス速度および <b>auto</b> キーワードが導入されました。

## 使用上のガイドライン

Cisco Nexus 5010 スイッチの最初の 8 個のポートと、Cisco Nexus 5020 スイッチの最初の 16 個のポートは、スイッチ可能な 1 ギガビット ポートと 10 ギガビット ポートです。デフォルトのインターフェイス速度は 10 ギガビットです。これらのポートを 1 ギガビット イーサネットに設定するには、1 ギガビット イーサネット SFP トランシーバを該当するポートに挿入してから、その速度を **speed** コマンドで設定します。

Cisco Nexus 5596T スイッチの最初の 32 個のポートは、スイッチ可能な 1 ギガビットポートと 10 ギガビットポートです。これらを 1 ギガビットまたは 10 ギガビットに自動ネゴシエーションするように設定することもできます。最後のポートの 33 ~ 48 は SFP+ ポートで、自動ネゴシエーションをサポートしません。

**例**

次に、1 ギガビットイーサネットポートの速度を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# speed 1000
```

次に、自動的に速度をネゴシエートするようにインターフェイスポートを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# speed auto
switch(config-if)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show interface</b>	インターフェイス コンフィギュレーション情報を表示します。

# system default switchport shutdown

すべてのレイヤ 2 のスイッチポートをレイヤ 3 のルーテッドポートとして設定するには、**system default switchport shutdown** コマンドを使用します。すべてのレイヤ 2 のスイッチポートのデフォルトにリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**system default switchport shutdown**

**no system default switchport shutdown**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

デフォルトでは、すべてのポートがレイヤ 2 スイッチポートとして設定されます。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、すべてのポートをレイヤ 3 のルーテッドポートとして設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system default switchport shutdown
switch(config)#
```

次に、すべてのポートをレイヤ 2 スイッチポートにリセットする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system default switchport shutdown
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show interface</b>	インターフェイス コンフィギュレーション情報を表示します。